

【ニュースリリース】

2020年5月15日

報道関係者各位

サイバーセキュリティクラウド、2020年GWのサイバー攻撃検知レポートを発表
2020年4月上旬と比較してGWを含む5月上旬は1.5倍以上のサイバー攻撃を観測

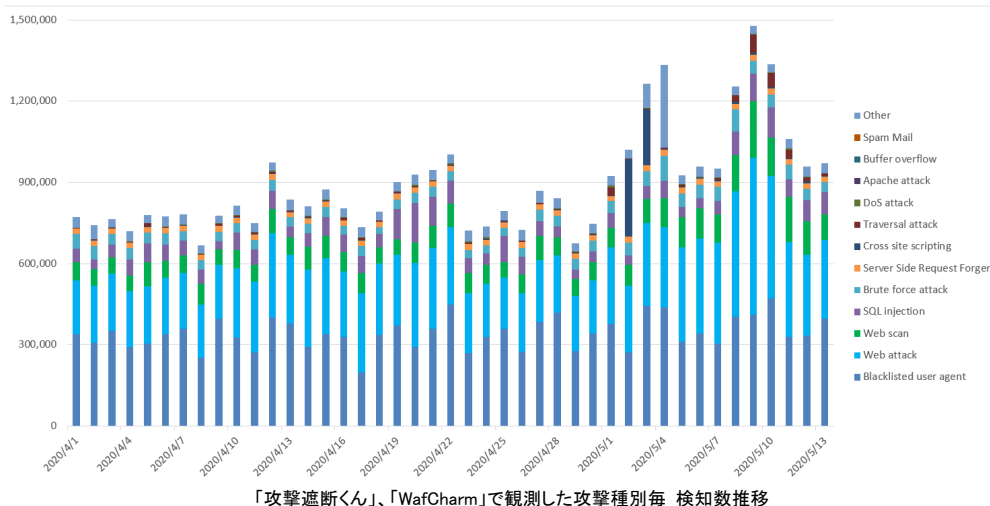
株式会社サイバーセキュリティクラウド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:大野 暉、以下「当社」)は、2020年のゴールデンウィーク(GW)を含む5月上旬を対象としたサイバー攻撃の検知状況を発表いたします。

なお、本データは当社が提供する、Webサイトへのサイバー攻撃を可視化・遮断するクラウド型WAFの「攻撃遮断くん」、AWS WAF 自動運用サービス「WafCharm(ワフチャーム)」で観測した攻撃ログを集約し、分析・算出した調査レポートです。

■調査概要

- 調査対象期間:2020年4月1日(水)~2020年5月13日(水)
- 調査対象 :「攻撃遮断くん」、「WafCharm」をご利用中のユーザーアカウント
- 調査方法 :「攻撃遮断くん」、「WafCharm」で観測した攻撃ログの分析

■2020年GWを中心としたサイバー攻撃の状況について



2020年4月1日(水)~5月13日(水)までの当社サービス(「攻撃遮断くん」、「WafCharm」)の導入企業へのサイバー攻撃状況は、GWの連休がスタートする5月2日(土)から5月4日(月)にかけて急激な増加をみせました。5月5日(火)より一旦減少したものの、再び5月8日(金)から休日に向けて増加しています。5月1日(金)から5月10日(日)におけるサイバー攻撃検知数の合計は“約1,144万件”となり、4月1日(水)から4月10日(金)の合計の“約759万件”と比較して1.5倍以上増加していることがわかりました。

GW 前半(5月2日(土)~3日(日))には、「Cross site scripting」、「Other」に分類される、Web サーバーに対する Web 経由以外のログイン試行などが増加し、GW 後半にかけて、「Web Attack」として分類される、Web サーバーを構成するソフトウェアの脆弱性に対する攻撃が急激に増加。また、全体に対する割合は低いながらも、重要なファイルの探索や上位ディレクトリの探索などの「Traversal attack」についても、急激な増加がみられました。

その他、悪性の bot や scan tool と思われる UserAgent からのアクセスや、昨今話題になっている「SSRF(Server Side Request Forgery)」、OWASP Top10 でも上位に含まれるアクセス制御の不備や不適切なセキュリティ設定をねらうスキャンが一定の割合で定常的に行われております。

オフィスの中の人が少ないやすい長期休暇はサイバー攻撃が増加する傾向にあり、2020年のGWにおいてもその傾向が顕著に表れました。今後、ますますテレワークが多くの企業に浸透していくと長期休暇でなくてもオフィスが長期休暇同様の環境になることから、企業にとってのサイバーセキュリティリスクも高まっていくことが予想されます。

当社では、今後ますます重要になっている企業のWebサイトをサイバー攻撃の脅威から守るため、今後もユーザーが安心してサービスを使える環境の構築支援に尽力するとともに、企業のビジネス保護に努めてまいります。

【クラウド型 WAF「攻撃遮断くん」について】

<https://www.shadan-kun.com/>

攻撃遮断くん

クラウド型 WAF「攻撃遮断くん」は、Web サイト・Web サーバへのサイバー攻撃を可視化・遮断する Web セキュリティサービスです。ディープラーニング(深層学習)を用いた攻撃検知 AI エンジン「Cyneural」を活用し、一般的な攻撃の検知はもちろん、未知の攻撃の発見、誤検知の発見を高速に行うとともに、世界有数の脅威インテリジェンスチーム「Cyhorus」により、最新の脅威にもいち早く対応します。導入社数・サイト数で国内1位※1を獲得し、企業規模を問わずご利用いただけます。

【AWS WAF 自動運用サービス「WafCharm(ワフチャーム)」について】

<https://www.wafcharm.com/>

Waf Charm

「WafCharm」は AI による「AWS WAF」のルール(シグネチャ)自動運用サービスです。機械学習を用いて最適な WAF ルールを自動運用する AI エンジン「WRAO(ラオ)」(特許番号:特許第 6375047 号)を搭載しています。累計導入サイト数・導入社数国内 No.1※1 の実績を持つクラウド型 WAF「攻撃遮断くん」で培った 1 兆件を超えるビッグデータを活用し、お客様毎に最適なルールを AWS WAF に自動で適用します。サイバー脅威情報監視チーム「Cyhorus」により最新の脅威にもいち早く対応します。また、国内有数のシグネチャカスタマイズのノウハウをもった、開発エンジニアによるサポートも合わせて提供しています。190 か国 100 万以上の AWS ユーザーに向けて販売しています。

【株式会社サイバーセキュリティクラウドについて】

会社名:株式会社サイバーセキュリティクラウド

所在地:〒150-0011 東京都渋谷区東 3-9-19 VORT 恵比寿 maxim3 階

代表者:代表取締役社長 大野 暉

設立 :2010 年 8 月

URL :<https://www.cscloud.co.jp/>

「世界中の人々が安心安全に使えるサイバー空間を創造する」という理念を掲げ、サイバーセキュリティクラウドでは、世界有数のサイバー脅威インテリジェンスと AI 技術を活用した、Web アプリケーションのセキュリティサービスを全世界に向けてサブスクリプションで提供しています。また、クラウド市場世界シェア 47.8%※2を持つ AWS において、世界で 7 社目となる AWS WAF マネージドルールセラーにも認定されております。

これからも私たちは、リーディングカンパニーとして、世界中の人々が安心安全に利用できるサイバー空間を創造するためのサービス開発を行い、情報革命の推進に貢献してまいります。

※1 出典:「クラウド型 WAF サービス」に関する市場調査(2019 年 6 月 16 日現在)〈ESP 総研 調べ〉(2019 年 5 月~2019 年 6 月 調査)

※2 出典:Gartner(July 2019)・・・Worldwide IaaS Public Cloud Services Market Share, 2017-2018

(Millions of U.S. Dollars)

＜本件のお問い合わせ＞

■サービスに関するお問い合わせ先
株式会社サイバーセキュリティクラウド
マーケティング部 PR・マーケティングチーム
電話:03-6416-9996 FAX:03-6416-9997
E-mail:pr@cscloud.co.jp

■報道関係お問い合わせ先
サイバーセキュリティクラウド PR 事務局(スキュー内)
担当:西尾・北出

TEL:03-6450-5457 Mail:csc@skewinc.co.jp